

アルコール健康障害等を巡る 都の現状について

令和3年3月23日
東京都福祉保健局
障害者施策推進部精神保健医療課

飲酒の状況

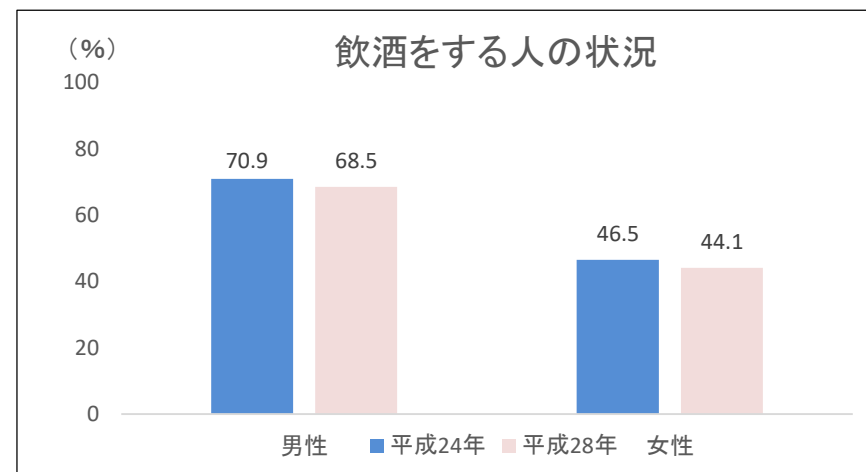
(1) 飲酒をする人の状況

- 飲酒をする人の割合は、男女ともほぼ横ばい

(単位：%)

データ項目		平成24年	平成28年
飲酒をする人の割合（20歳以上） （あなたは週何日位お酒を飲みますかという問いに、毎日、週5～6日、週3～4日、週1～2日、月に1～3日と回答した者の割合）	男性	70.9	68.5
	女性	46.5	44.1

資料：平成24年 健康に関する世論調査（東京都生活文化局）
平成28年 健康と保健医療に関する世論調査（東京都生活文化局）



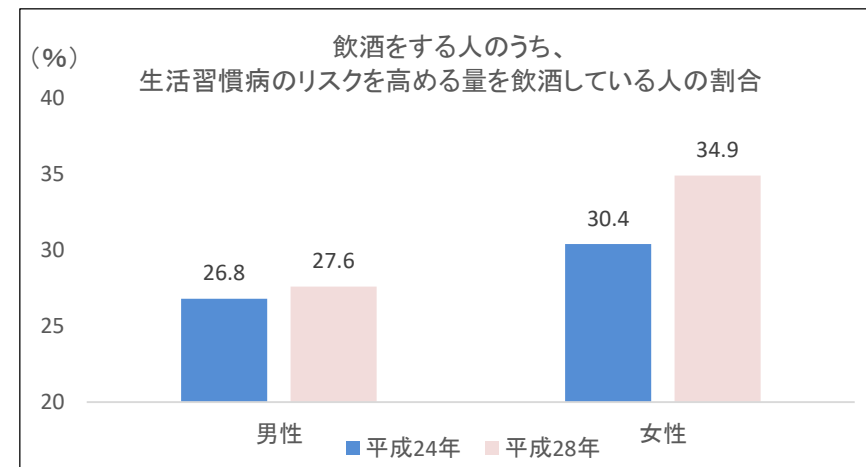
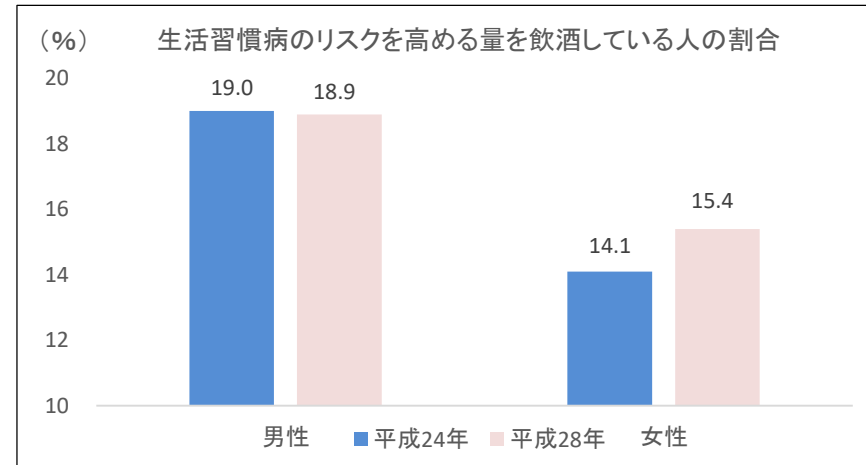
(2) 生活習慣病のリスクを高める飲酒者の状況

- 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合については、男性はおおむね不変となっているのに対し、女性は増加
- 飲酒をする人のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒をしている人の割合でも、女性は増加傾向

(単位：%)

データ項目		平成24年	平成28年
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合（20歳以上） （1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人の割合）	男性	19.0	18.9
	女性	14.1	15.4
飲酒をする人のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合（20歳以上）	男性	26.8	27.6
	女性	30.4	34.9

資料：平成24年 健康に関する世論調査（東京都生活文化局）
平成28年 健康と保健医療に関する世論調査（東京都生活文化局）



アルコールによる健康障害等の状況

(1) 保健所の相談状況

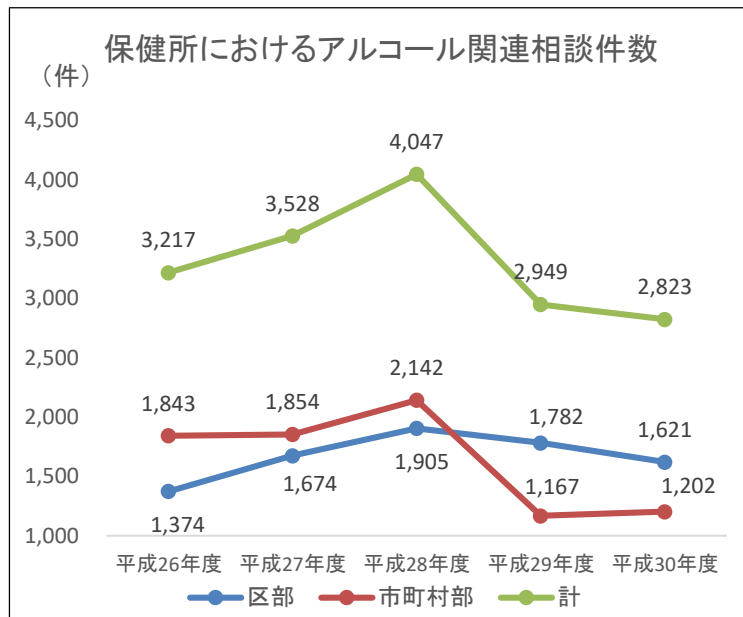
- 都内の保健所におけるアルコール関連相談件数は、年度によって増減はあるが、おおむね年間3～4千件の間で推移

(単位：件)

データ項目	地区	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
保健所におけるアルコール関連相談件数(※)	区部	1,374	1,674	1,905	1,782	1,621
	市町村部	1,843	1,854	2,142	1,167	1,202
	計	3,217	3,528	4,047	2,949	2,823

※ 区部については特別区保健所の合計数、市町村部については八王子市保健所、町田市保健所及び都保健所の合計数

資料：地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）



(2) 精神保健福祉センターの相談状況

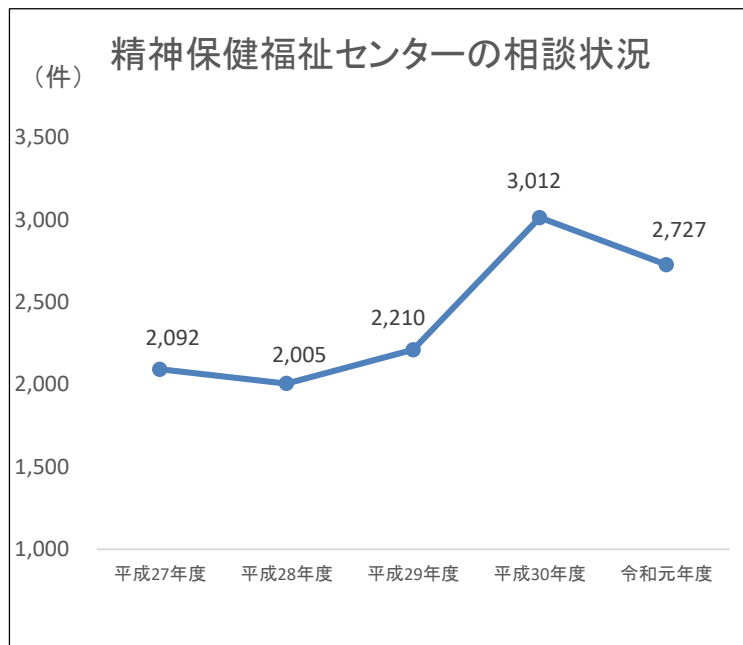
- 都立（総合）精神保健福祉センターにおけるアルコール関連相談件数は、おおむね2千件程度で推移してきたが、平成30年度には増加傾向

(単位：件)

データ項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
精神保健福祉センターにおけるアルコール関連相談件数(※)	2,092	2,005	2,210	3,012	2,727
うちアルコール相談のみ	—	—	—	1,554	1,209

※ 都立（総合）精神保健福祉センターにおけるアルコール関連（ギャンブル等その他の嗜癖を含む）の相談件数

資料：東京都福祉保健局障害者施策推進部調べ



(3) アルコール依存症者の受療状況

- 都内におけるアルコール依存症者による入院者数は、おおむね年間700件から800件の間で推移
- 通院者数は4,000件台で推移し、近年はおおむね横ばい

(単位：人)

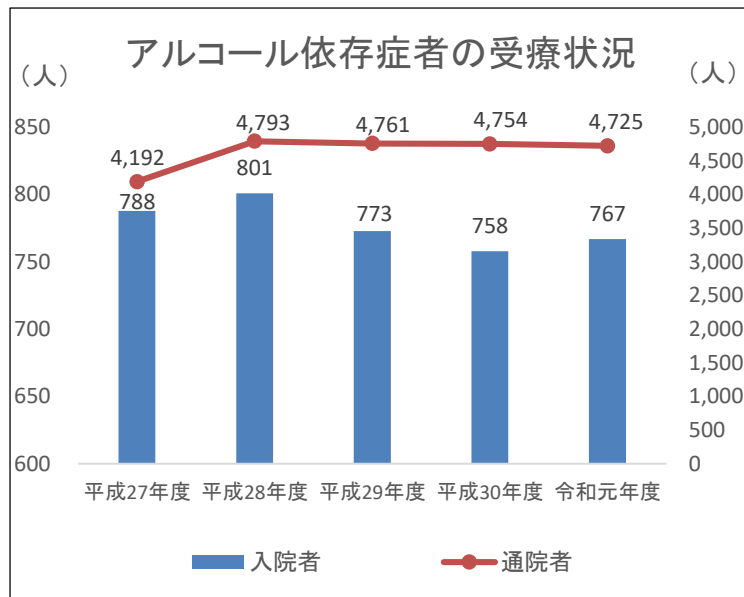
データ項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
アルコール依存症者による入院者数(※1)	788	801	773	758	767
アルコール依存症者による通院者数(※2)	4,192	4,793	4,761	4,754	4,725

※1 各年度6月30日時点での入院者数

※2 自立支援医療を受給している通院者のうち、アルコール使用による精神及び行動の障害に分類されている者の人数

資料：入院者数 精神保健福祉資料(厚生労働省)

通院者数 東京都福祉保健局障害者施策推進部調べ



(4) 飲酒事故の状況

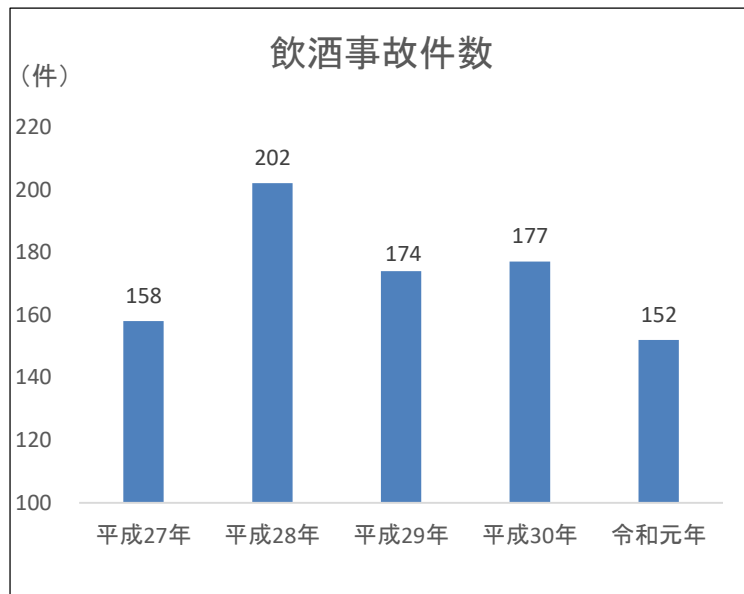
- 都内における飲酒事故件数は、おおむね年間200件前後で推移

(単位：件)

データ項目	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
飲酒事故件数(※)	158	202	174	177	152

※ 飲酒事故とは、原付以上の運転者が1当となった事故で、その者が飲酒していた場合をいう

資料：警視庁調べ



急性アルコール中毒による救急搬送の状況

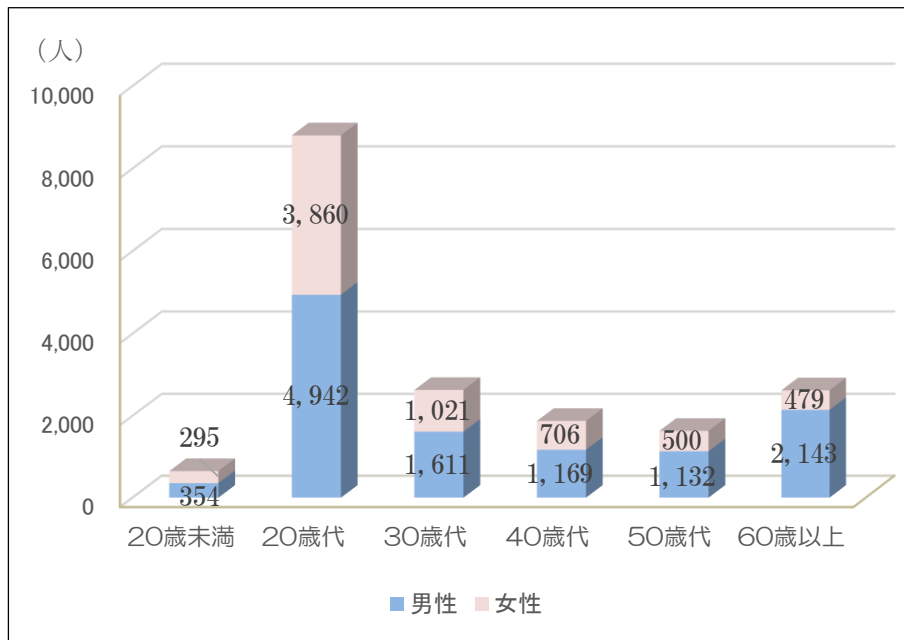
(提供：東京消防庁)

- 東京消防庁管内では、毎年1万人以上の人々が急性アルコール中毒により、救急車で病院に搬送
- 月別の搬送人員の推移では12月が最も多い
(年末はグループでの飲酒の機会が多くなるのが要因の一つと考えられる)
- 年代別、男女別の搬送人員では、男女ともに20歳代が一番多い
- 令和元年の搬送人員のうち、重症以上は55人

◀ 東京消防庁管内における急性アルコール中毒搬送人員の推移 ▶ (単位：人)

性別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
男性	9,973	10,337	10,686	11,107	11,351
女性	5,501	5,801	6,225	6,648	6,861
計	15,474	16,138	16,911	17,755	18,212

◀ 【年代別】急性アルコール中毒搬送人員 (令和元年) ▶

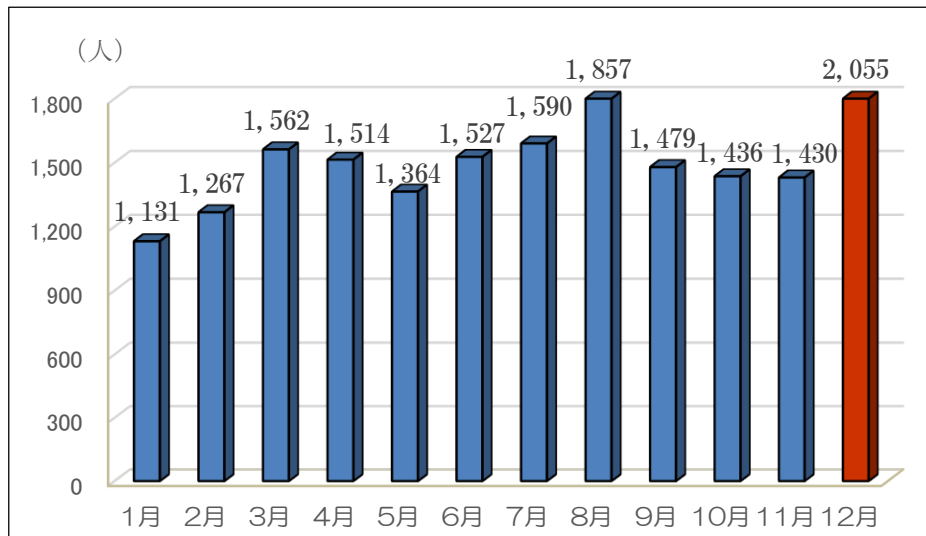


飲酒に係る少年補導の推移

(提供：警視庁)

- 少年の飲酒による補導件数は近年500件程度で推移

◀ 【月別】急性アルコール中毒搬送人員 (令和元年) ▶



飲酒に係る少年補導の推移 (7年)

